



総合教育センターだより

Be Connected



センターマスコット センタ君

平成26年2月17日(月)
第59号(通算第142号)
京都府総合教育センター
TEL: 075-612-3266

単位制履修制度

学び続ける教員として、計画的に資質能力の向上を

教員は学び続けることが求められています。社会の急速な進展の中で知識・技能の絶えざる刷新に努め、実践的指導力等を高めることが大切です。

学び続ける教員を支援するために平成21年度から単位制履修制度がスタートしました。この制度は教職員が主体的に受講講座を選択することで、自らのライフステージにあわせて計画的に資質能力の向上を図れることが特徴です。

年度末にはこれまでの履修内容を研修履歴一覧表で振り返り、これからの研修計画を立て、資質能力の向上に御活用ください。

単位制履修制度の標準モデル (H25年度 教諭の例)

ライフステージ		必修講座	選択講座
初任期育成研修	初任者研修	20単位	
	2年目教員ステップアップ研修	8単位(テーマ研修含む)	4単位
2～6年目研修			
7年～12年目研修			5単位
	10年経験者研修	6単位	4単位
13年目以降研修			13単位
(生涯合計60単位)		計34単位	計26単位

研修講座には、必修のものと選択できるものの2種類があります。

教諭の場合、必修は定まった時期に必ず受講するもので、合計34単位です。(原則として1講座が1単位)

選択は、それぞれのライフステージの中で、合計26単位を標準としています。必修と選択をあわせて、教職生涯で60単位が標準的なモデルとなります。

必要に応じて複数年にわたって同じ講座を受講することもできます。

この場合も、積算した単位が履歴として記録されます。



受けてみたいな、こんな講座

「受けてみたいな、こんな講座」に御応募いただき、ありがとうございました。平成26年度は提案を参考にして下記の2講座を実施します。

講座名	提案者	定員	実施予定日	内容
「子どもの心の健康講座ー心理教育によるアンガーマネジメント・友だちづくり・自殺防止ー」 【総合教育センター】	府立 南山城支援学校 澤井 聡 先生	100名	10月23日(木)	「怒りとうまくつき合うための心の学習」や「友だちとうまくつき合うための学習」について学び、いじめ・不登校の解決や、自殺防止についての適切な支援につなげる。
「伝わる学校広報講座」 【総合教育センター】	府立 鳥羽高等学校 下拂 徹 先生	60名	6月30日(月)	効果的な広報のためのスケジュールリングや広報素材の集め方について学ぶ。また、広報におけるデザインの意義について理解し、演習を通してデザインの基本について学ぶ。

講座報告



10年経験者研修「共通」講座Ⅳ

中核教員

- 組織を動かすキーパーソンとして -

1月17日（金）、24日（金） 総合教育センター

1年間にわたる10年経験者研修のまとめとして、「共通」講座Ⅳを実施しました。

若手教員のメンター（助言者・相談者）として、また若手とベテラン教員を繋ぎ学校運営を担う中核教員としての意欲を高めるとともに、自らの教師力向上をめざし学び続けるための指針を1年間の研修を通して得ることができました。

感想

10年経験者研修は、これまでの10年を振り返り、更に指導力を高めたいと思うよい機会となった。また、中核教員として、より広い視野を持つ必要を感じ、背筋の伸びる思いがした。国や府の動向、学校教育活動全体に目を向けると同時に、目の前の一人一人の生徒に対する思いを大切にしたいと強く感じた。



京都府学力診断テスト(中学校2年)活用講座

1月20日（月） 総合教育センター

1月21日（火） 北部研修所

出題趣旨、質問調査を踏まえた分析方法や授業改善のポイント等についての課題提起の後、各校での分析や改善のための方策を国数英の教科ごとに交流、協議しました。

中学生の学力向上は府全体の大きな課題です。学力テストの結果分析や授業の改善にとどまらず、今後も各校の課題解決に積極的に取り組む必要があります。

感想

・各領域別のポイント説明から、改善の方法や今後の見通しが持てるようになった。教科を越えて学校全体で力をつける必要があると思った。

・授業の目標と振り返りを毎時間、明確にすることを広めたい。
・やはり中1からのきめの細かい指導が必要である。共通するつまずきの箇所が分かっているので、定着を促す指導を繰り返したい。



これは使える！

～センター作成物等紹介～

信頼ある学校を創るⅡ

保護者等からの苦情の対応について解説しています。

保護者等との関係のつくり方や苦情に対する「聴き方」「話の進め方」をわかりやすく紹介しています。

また、学校が負うべき責任について、判例を引用しながら具体的に紹介しています。

センターHP・京育ナビからダウンロードできます。



人材育成支援室より お勧めの一冊

「村上海賊の娘」

和田 竜 著 新潮社 刊

2012年に映画化されて話題となった『のぼうの城』で人気の和田竜さんの最新作。戦国時代、織田信長から兵糧攻めにされた一向宗大坂本願寺が毛利家に助けを求めたことで起こった、のちに「木津川合戦」と呼ばれる村上水軍と泉州侍勢の大阪湾での死闘を描いた物語である。主人公は毛利側について「海賊王」村上武吉の娘・景。当時の人間の命の価値というものが現代を生きる我々とはいかにかけ離れているかを思い知らされる。史実に基づく歴史好きにはたまらない本格時代小説である。(N.H)

